

# どう活用か？

## 限られた財政

行政改革を断行！

### 平成18年第1回定例会

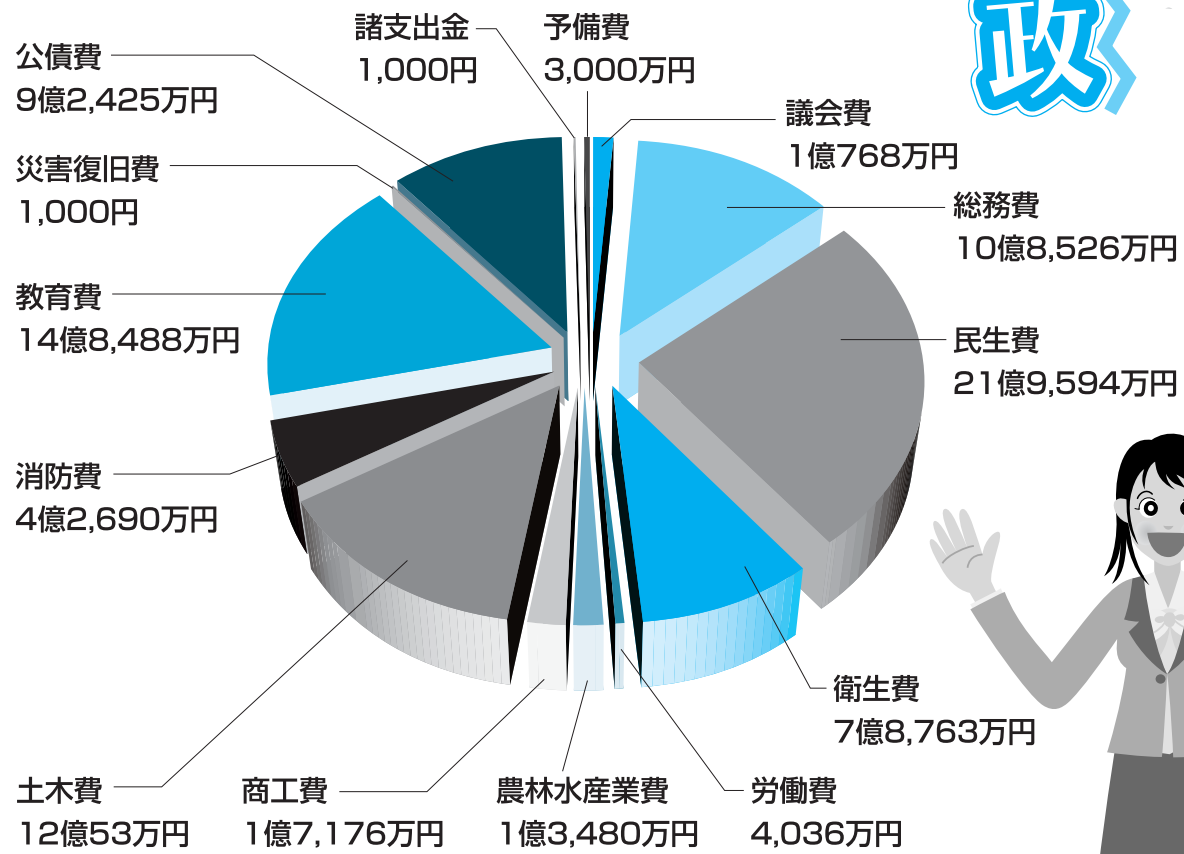
3月定例会は、3月7日から20日までの14日間の会期で開かれました。

初日は、平成18年度の町長施政方針が示され、これを受けて町から条例制定・一部改正案16件、補正予算6件、一般会計ほか7会計の当初予算、および人事案件など、37議案が提案されました。

総額85億9,000万円の新年度予算は、3日間の予算特別委員会での審議の結果、すべて原案とおり可決されました。

最終日には、追加提案された議員発議の意見書などを可決し、14日間の会期を閉じました。

### 歳出 85億9,000万円



### 限られた財源の中で、 町民のための まちづくりを

平成18年度一般会計予算の総額は、85億9,000万円となり、前年度に比べて△3.5%減となりました。本予算は、きめ細かな町民サービスの向上に視点をおき、次の5項目に重点的な予算配分が行われています。

#### 重点5項目

- 1 安全で安心して暮らせる明るいまちづくり
- 2 「町民一人スポーツ」による健康なまちづくり
- 3 「町民生活」のまちづくり
- 4 「地域産業の活性化」による元気なまちづくり
- 5 少子高齢化社会に向けた、子育て世代が魅力を感じるまちづくり

平成18年度は、第4次総合計画の後期となります。前期の成果を踏まえ、将来計画を視野に入れた施策の推進が必要です。

今後は、収入に見合った財政規模を基準とし、行政改革による健全な財政運営に努めて欲しいと考えます。

総括質疑

このような質問・答えがありました

**問** 町長は、施政方針の中で「改革と見直しを大胆に断行する」と述べている。

**答** 決して消極的な予算ではないとのことだが、一般会計の規模は前年より3億1000万円減。歳入については、住民の負担増が見られ、歳出の内訳についても、果たしてこれが積極的な予算と言えるのか。

**問** 町民の皆さんが安心して暮らせるまちづくり、少子高齢化社会に対応した健康なまちづくりが、町政を行う大前提だと考えている。数字的に見えてこないとの指摘もあるが、予算がないから住民サービスができないということではない。

**問** 施政方針で示された5項目の重点施策からは、改革を断行する決意が見えてこない。

**答** 目玉的なもの、ハード的な大きなものはないが、ソフト面の充実を施政に打ちだした。スリム化した中でいかに住民サービスができるか。よりよい改革と住民サービスの向上が図れるよう、さらに分析していく。

**問** 町長は、昨年の施政方針でも「企業誘致」を積極的に進めるとの方針を述べた。しかし、新年度予算額からは、前向きな姿勢が全く見受けられない。

**答** 町は現在、東部工業団地の拡張を計画している。昨年末から地権者説明会を行い、埋蔵文化財の試

掘調査を行っているところである。地権者や進出企業などへの対応はこれから行っていくが、現段階では企業誘致に係る予算はそれほど必要ではない。用地買収などの予算は、試掘が終わる、状況がはっきりした段階で話をつめていく。

平成18年度予算審議

平成18年度予算審議については、議員全員で構成する予算特別委員会に付託して審議の後、本会議において全会一致で可決しました。

賛成討論

町田 むねひろ

予算特別委員会および一般質問において、多くの議員から厳しい意見が出された。これに対し、

町長は議員の意見を真摯に受け止め、予算の執行段階において誠心誠意対応することである。予算を1日も早く決定することが玉村町のためになると考え、本案に賛成する。

平成18年度玉村町 一般会計・特別会計予算の概要

一般会計	85億 9,000万円 (	3.5%減)
国民健康保険特別会計	26億 7,426万円 (	11.5%増)
老人保健特別会計	20億 4,678万円 (	6.7%増)
介護保険特別会計	11億 8,397万円 (	9.6%増)
介護予防サービス事業特別会計	986万円 (	皆増)
下水道事業特別会計	11億 7,270万円 (	0.3%減)
水道事業会計	8億 5,527万円 (	32.7%減)
農業共済事業会計	8,913万円 (	16.7%減)



予算特別委員長の審査報告



本会議の様子